



バラの会
まつさか まさお
松坂 昌應 議員

歩いて楽しい城下町にしたい

Q 島原城周辺の歩道整備及び無電柱化事業の進捗は。

A 島原駅前交差点から図書館前を通り、九州電力島原事業所前までの約540メートルの区間について、島原城築城400年記念事業の一環として、令和6年度を目標に整備を予定している。

お堀側に歩道を整備することで歩道の連続性を確保し、地域の方・学生・観光客が安心、安全に歩ける歩行空間が作れる。

一方通行などの交通規制が必要となることから、地域の方たちのご理解ご協力が必要。先日（6月13日）、初めて地元説明会を実施したところ。



イオン島原店問題

Q イオン島原店存続等についての市民の意向は？

A 商工会議所、商店街連盟、地元商店街からの要望だけでなく、多くの市民の方が市の中心部の賑わい、その中心にあるイオン島原店の存続、再開を望んでいると認識している。

Q イオン九州、島鉄（長崎バス）の意向は？

A イオン島原店存続を前提に、建て替えを早期に進めようと協議をされている。

Q 今の用地の状況では道で分断されている。道の付け替えについて市はどう考えるか。

A 多くの市民の要望でもあるので、市の立場で、道路付け替えを進めるべきだと考えている。

【その他の質問項目】

◇市職員に地域担当を割り振って、町内会や民生委員の補佐が出来ないか

◇清流亭の物販は柔軟に

◇諫早湾調整池排水の悪影響



公明党
ながお くにただ
永尾 邦忠 議員

へき地医療における輸血用血液製剤の供給体制

Q 秋野公造参議院議員と市長の三人で島原病院の血液管理状況を視察した。院長は「財政への懸念と、近隣産科などを含めた緊急時の対応は難しい」、秋野議員は「他のへき地や離島でも今後課題となり得る。国や関係機関と協議し対応策を検討していく」とあったが、問題は解決したのか。

A ①期限切れのものは島原病院で全て買い取り、廃棄・損失となることから最低限の院内保有とならざるを得ない財政的な問題、②緊急時に地域の産科医等への供給や、大出血の緊急患者の受入れの際に不足する事態となり、今まで救えた命を守れない危険性が生じる問題、③今後は県赤十字血液センターが血液輸送車を平日の日中（午前11時～午後3時）、島原病院敷地内で待機し供給に応じる体制を敷くが、それ以外の時間帯は長崎市からの到着が2時間程度かかる血液輸送の問題など、大出血の

ケースに間に合わない問題が残る。

秋野議員も問題解決へ関係機関に働きかけていただいている。参議院決算委員会では地域医療を守る観点で検討することとした上で、かつての備蓄に近い体制を模索するならば、面積や管理者の要件、血液製剤を扱う者と日赤の雇用関係についても整理がなされており、これに従って県と日赤の間で結論を出してもらい、一日も早い血液の安定供給体制を取り戻してほしい。

家庭ごみ収集の今後の在り方

Q ①ステーション方式と戸別収集の箇所数。②高齢者世帯の戸別収集の箇所数。③家庭ごみ収集決算の推移。④戸別収集が増えた場合の予算の計画はどうか。

A ①ステーション方式が約1200カ所、戸別収集が約3100カ所。②平成29年が20世帯、30年が32世帯、31年が50世帯。③平成29年度は1億7800万円で横ばいで推移。④ふれあい収集を市職員で行っているが、将来的には業務委託等により経費節減を図りながら事業を進めたい。

【その他の質問項目】

◇国の法案成立に伴う本市の取り組みについて

◇市施策の今後の取り組みについて